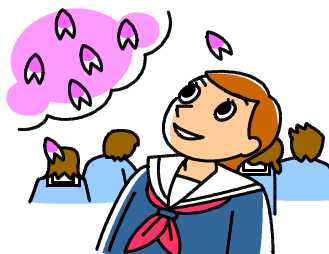


# 希望の鐘

151号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

**57名の新入生を迎え 春満開  
163名で心新たに新年度スタート**



4月8日（月）、平成31年度入学式が多数のご来賓、保護者のご臨席のもと厳かに挙行されました。新入生認証の場面では、学級担任の先生が一人一人の名前を読み上げると、真新しい制服に身を包んだ57名の新入生が大きな声で返事をし、緊張した面持ちで起立をしました。新入生を代表して工藤陽奈さんが認証書（身分証明書）を受け取りました。短い出来事の中でしたが、私は、新入生が中学校の3年間で夢を大きく膨らませ、文武両道にわたって活躍してくれるものと確信しました。

その後、新入生を代表して鈴木裕輔君が力強く誓いの言葉を述べると、それを受けて、在校生代表の笹森知愛さんが「小中野中にはコナ中プライドという言葉があります。小中野中生としての誇りです。様々なことを、本気で、一生懸命取り組んで培っていきましょう。みなさんも一人一人の中に小中野中生としての誇りを育てていってください。そして、今までの良き伝統を受け継ぎつつ、ここにいる全校生徒で新たな風を吹かせていきましょう」と包容力のある歓迎の言葉をかけてくれました。

全職員が一丸となって子供たちのために全力を注ぎたいと考えておりますので、様々な場面での保護者の皆様や地域の方々のご支援、ご協力をお願いいたします。

## 入学式…新入生誓いの言葉 （一部抜粋） 1年 組 ○○ ○○

これから始まる中学校生活への期待が、ふくらんでいます。その一方で、不安も少しあります。英語の授業が本格的に始まり、学習面では授業内容も難しくなると聞いています。楽しみでもあり、不安でもあります。毎日、一生懸命、学習に取り組みたいです。さらに、僕たちは、部活動に打ち込んだり、新しいことに挑戦したりしていきますが、時には悩んだり、苦しく辛いことが待ち受けているかもしれません。しかし、僕たちは、何があろうと全力で取り組みががんばろうと思います。また、お互いを思いやり、みんなで助け合い何事も最後まで一生懸命やりぬいていきます。

途中で悩み、くじけそうになる時もあるかと思っています。その時は、先生方、先輩方、及び地域の方々、そして保護者の皆様、僕たちのことを温かく見守り、そして時には厳しく、ご指導していただきますようお願いいたします。

僕たちは、これからこの小中野中学校で共に学ぶ仲間たちと、一日一日を大切にし、自分の言動や行動に責任を持って過ごしていくことを誓います。

## 1学期始業式意見発表

○2年 組 ○○ ○○

僕たちは、今日から2学年になります。僕自身、まだそのことが自覚できていないところがあり、1年生の気分を引きずっているところがあります。

しかし、去年の4月のころと比べて、成長したと感ずることもあります。それは、一つの目標にみんなで向かうようになったことです。練習の最初から本気でやるということは、まだできていないかもしれませんが、「頑張ろう」という呼びかけに応えようと

する人が増えてきたと思います。

去年、一番初めにやったレクは、長縄大会でした。僕は前期副室長をしていましたが、練習の時間をもらってもなかなか縄跳びが始まらず、自分たちで練習を進めることもできませんでした。僕もみんなに声掛けができず、指示を待つだけでした。しかし、何度も何度も練習するうちに、うまくいくように話し合っ作戦を考えたり、みんなで掛け声を掛けたりして、息を合わせて跳べるようになりました。

体育祭のむかでリレーも、合唱コンも、学年で行った漢字コンテストも、得意な人ばかりではないけれど、苦手な人たちも頑張る人に協力し、一致団結してやり遂げることができるようになったと思います。

僕たちのテーマソングに「人のことをバカにするより、自分がバカになるほうがカッコいい」という歌詞があります。僕たちの学年の一番の課題です。少しずつ成長している僕たちですが、まだまだ幼稚で、人として心が成長できていないのだと思います。仲間を信じて自分も頑張ること、素直になること、苦手なことをごまかさないこと、どんなことにも本気で取り組むこと。2年生では、このことができる集団を目指していきます。そして、3年生が最後の一年で悔いを残さないよう全力でサポートし、後輩を引っ張っていく2年生になろうと思います。

僕自身が今年一番頑張りたいのは部活です。僕たちの目標は「県大会優勝」です。この目標を言うとき、僕は少しためらいます。それは、今までの大会で結果を出せていないからです。しかし、高いところを目標に、高いレベルで厳しい練習をするほうが楽しいです。普段の練習では、走り込みやキャッチボールなどの基本練習こそ緊張感を持って取り組み、着実な力を付けていこうと思います。このことは、勉強にも言えることです。自分の目標を持って、当たり前に行うべきことを中身濃く行っていくことが大切だと思います。

学校生活の本気で頑張ることに「楽しさ」を感じることで、成長の一年にしていきたいです。

### ○3年 組 ○○ ○○

「最高級の最上級生になれ」この言葉は、昨年度の立志式で講演をしてくださった小野寺先生が、私たち3年生に言うてくださった言葉です。今までの小中野中3年生の中で、一番の3年生を目指して、何事にも取り組むということです。

立志式では、一人一人が自分の弱さと向き合っ、自立した人間になるための宣言をし、学年としてもレベルアップした集団を目指して宣言しました。

私たちは、本当に後輩に見習ってもらえる集団だろうか。私たちは、自分の姿を手本にしろと胸を張って言える自分だろうか。今年一年、こうやって自問自答しながら、一つ一つのことに向き合っっていくこと。それが最上級生の責任だと思います。

しかし、現状はそうは言えないところがまだまだたくさんあります。部活動では、運動部は夏季大会以降、文化部は文化祭以降、自分たちが最上級生として部をリードしてきました。しかし、先生方から「3年生を手本にしろ」と言うてもらえるだけの行動は、まだできていないように思います。それは、技術面だけではなく、練習態度や礼儀の面などでも言えます。「最高級の最上級生になる」このことをこの一年、常に意識して生活し、「小中野中の顔」として、たくさんの人たちから認めってもらえるよう頑張っしていきます。

今年は、すべての行事に「最後の」という言葉が付きます。最後の大会、最後の体育祭、最後の合唱コンクール、最後の文化祭、そして、一日一日が最後の中学校生活です。

今までの私たちは、練習のときには本気を出さず、貴重な時間をただやり過ごしていました。本番が近くなっから焦り、何とか間に合っさせてきました。勉強も、ただやる、ただ埋めることだけの中身で済ませるしてしまうこともありましました。部活も、大会でうまくいかなかったときに、ようやく練習の怠慢さを後悔することがありましました。

今までのように、目の前のことをなあなあで済ましまっっている時間はありまません。

「受験」と「卒業」を意識して、全力を出さなかつたことに悔いを残すことがないように、何事にも本気で取り組んでいきましよう。

そして、小・中と一緒におごしてきた63名の仲間との「別れ」が一年後に来ることを意識して、このメンバーでおごす時間や、このメンバーで取り組む行事を最高のものにしていきまたいです。

